

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 8 日作成)

| | | | |
|------------------------------|--|--|-------------------------------|
| 小委員会名 | FRP 合成構造の建築への適用性検討小委員会 | | 主 査 名：松本幸大 就任年月：2013 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会) | | 委員長名：緑川光正 主 査 名：倉本 洋 |
| 設 置 期 間 | 2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>長寿命・軽量・高強度な新構造材 FRP を建築合成構造の構成部材の一つとして利用し、補修・補強並びに新規高機能構造システムとして構築するための適用性に関する調査研究を実施することを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012 年度：国内外の FRP 材料製造の現状を調査し、それらの建築構造への適用のための研究・実用に関する文献調査と分析を行う。並行して、米国で実施されはじめた先進的な「FRP 住宅」に関する調査の見学等を企画する。 ・2013 年度：米国の「FRP 住宅」等の構造調査など、国内外の FRP 合成構造実施状況と規準類の整備状況の調査を行う。 ・2014 年度：調査で明らかになった適用性に関する長所・短所について整理するとともに、建築構造への適用を視野にいたした標準化の方針を検討する。 ・2015 年度：「FRP 材料の建築構造への適用(仮)」と題するセミナーを実施し、内容を資料(出版物)として出版する。 | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | <p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：松本幸大(豊橋技術科学大学) 幹事：米丸啓介(清水建設) 委員：金久保利之(筑波大学)・馬場望(大阪工業大学)・宮内靖昌(大阪工業大学)・服部明生(東レ建設)・金田勝徳(構造計画プラス・ワン/日本大学)・萩尾浩也(大林組)・小宮巖(福井ファイバーテック)・西田賢二(AGC マテックス)・有山伸之(大成建設)・山本展久(東レ)</p> | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | | |
| 2015 年度予算 | 200,000 円 | <p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s34/</p> | |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|--|
| 委員会開催数 | 4 回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014 年度 PD 資料を基に刊行物「(仮称)FRP 合成構造設計指針(案)」の構成案をまとめ、原稿の作成を進めた。中でも、材料基準強度に関する事柄を整理し、他の学会指針・JIS との対応に配慮して定めた。 2. 上記刊行物編纂のため、強化プラスチック協会との連携と調整を進めた。 3. 2015 年度の目標は十分達成したとは言えないが、2016 年 4 月から新たな小委員会で引き続き作業を進める。 |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「(仮称)FRP 合成構造設計指針(案)」の構成案および上記 PD 資料に基づき、原稿推敲を進める。 2. 材料試験等のデータについては他学会における研究データが必要であり、それらとの連携・調整を進める。 |